

平成 29 年第 9 回女川町教育委員会会議録

- | | | |
|----|-------------|--|
| 1 | 招集月日 | 平成 29 年 8 月 23 日 (水) |
| 2 | 招集場所 | 役場仮設庁舎 2 階 第 1 会議室 |
| 3 | 出席委員等 | 1 番 横井 一彦 委員
2 番 平塚 征子 委員
4 番 阿部 喜英 委員
村上 善司 教育長 |
| 4 | 欠席委員 | なし |
| 5 | 説明のため出席したもの | 教育総務課長 今村 等
教育総務課 教育政策監 春日川真寛
生涯学習課長 佐藤 毅 |
| 6 | 本委員会の書記 | 教育総務課 課長補佐 笥 由佳子 |
| 7 | 開 会 | 午前 9 時 30 分 |
| 8 | 会期の決定 | 会期は本日 1 日限りといたします。 |
| 9 | 前回会議録の承認 | 教育長 初めに、前回の会議録の承認の件をお諮りいたします。すでに配布されておりますが委員の皆様方何かお気づきの点はありませんか。
無いようですので承認とさせていただきます。 |
| 10 | 会議録署名委員の指名 | 教育長 2 番 平塚 征子 委員
4 番 阿部 喜英 委員 よろしく願いいたします。 |
| 11 | 報告事項 | 教育長 今日は、協議事項等がございませんので、報告事項に入らせていただきます。
はじめに私から「教育長報告事項」と「別添資料」、そして資料を出すのが遅くなってしまいましたが、今朝 2 枚ほど配付しております。これらに基づき、報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。
はじめにということで、夏休み終了、第 2 学期がいよいよスタートするということを書かせていただきました。
8 月は、委員の皆様方とくと肌でお感じかと思いますが、異常気象の 8 月でございました。8 月に入ってから記録的な日照不足が続きました。内陸部、私は桃生町に住んでいるのですが、近所の方に聞くと、稲作への影響、いもち病の心配などが出て |

いるところでございます。

子どもたちにとりましても、これまであまり経験したことのないような夏休みではなかったかと思えます。プールでいっぱい泳いで、真っ黒になって、第2学期に登校してくるというイメージからは程遠いような夏休みでございましたが、今日やっと太陽が顔を見せたところでございます。

ただ、あとでも報告をさせていただきますが、子どもたちは思った以上にプールに、特に小学校の子どもたちは通っていたようで、元気に夏休みの生活を過ごしているという報告もいただいております。子どもたちのストレスが蓄積されているのではというような心配をしていたことを書かせていただきましたが、それが杞憂に終わるような感じでございます。

第2学期、いよいよスタートいたします。現時点では、サッカーの試合でけがをした等の報告はされておりますが、子どもたちの大きな事故等の報告はなく、安堵しております。明日、校長・教頭会議が開催されますので、最後の最後まで気を抜かないようお願いしたい旨をお話ししようと思っております。

2学期は、毎年のように話しておりますが、真価が問われる2学期でございます。どうぞ教育委員の皆様方のこれまで以上のご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

今日一番の報告は、全国学力・学習状況調査結果の報告でございます。学校ごとには8月21日に公表されました。マスコミ等には28日（月）に公表されます。

「別添資料」1ページ、今年度の結果をご覧になっていただきたいと思えます。

昨年度は10ポイント以上下回るような結果になり、教育委員の皆様方にはご心配をいただいたところでございます。

子どもたちが変わっているので、一概に昨年度と比較はできませんが、この1年間、小学校、中学校とも頑張りが見られたのではないかと思います。特に小学校の頑張りが目についたところでございます。

小学校の国語は、全国平均正答率と3ポイント以内、国語Bは全国平均正答率を上回る結果となりました。ただ、小学校の算数A問題が-8.6ということで残念だったのですが、昨年度と比べますと、くり返すようですが子どもたちは違うのですが、頑張ったのではないかなと思っております。

ただ、算数が課題ではございます。

中学校は、国語は全国平均から3ポイント以内に収まっているところでございます。数学は、もう少しいいかなと思っておりましたが、このような結果となりました。もうひと踏ん張りかなと思っているところでございます。

算数、数学については、これから小中一貫校ということで進めていくわけですが、これまでの女川の教育を考える会でも算数、数学のことについては話し合いが出たところがございます。何とかここを小学校、中学校が連携しながら進めていきたいと思っているところがございます。

速報値ということで、このような形でご報告をさせていただきました。

続きまして「別添資料」の2～3ページをご覧ください。また、ご意見、ご感想を伺いたしたいと思います。

何度もくり返すようですが、昨年度との比較といっても子どもたちが変わっているの、一概に比較はできないところもございますが、学校の取り組みとして別な視点から見た時に、学校としての取り組みの成果は出ているのではないかと思います。小学校、国語でございます。A問題、B問題とも昨年度よりも大幅にアップしている状況でございます。算数も、A問題なので気になったところではございますが、ご覧のように全国平均から昨年度よりも5ポイント以上上がっている状況でございます。学校としての取り組みの成果が表れたのかなと思っているところがございます。

5年生の時の県の学力・学習状況調査はあまり芳しくない成績で、教育委員の皆様方もご承知かと思いますが、あれから比べると、1年間の頑張りは本当に称賛に値するところもあると思っていますところがございます。

3ページは中学校の昨年度との比較でございます。

いずれも昨年度の平均正答率を上回っているところがございます。特に国語Bが約10ポイントほど上回っているというのは、大いに頑張った成果と思っているところがございます。

数学も確かに昨年度よりも上回ってはいるのですが、本町の算数、数学の取り組みについては、これから向学館も含めて話し合いを行わせていただきますが、一丸となって取り組んでいきたいと思っているところがございます。

全国学力・学習状況調査結果については、以上とさせていただきます。

「教育長報告事項」2ページに戻させていただきます。

夏休み期間中、小学校、中学校ともいろいろな行事等がございました。また、先生方にはいろいろご苦労をおかけしたところでございます。

2 ページは、小学校の行事等でございます。

現在、小学校では、8月22日から24日までまなびやが開かれているところでございます。

それから「算数チャレンジ大会」。昨年度から女川小学校で参加しているのですが、今年度、見事予選を突破いたしました。

予選参加チームが285チーム、本選出場チームが32チームになります。本選出場チームは、まず各教育事務所管内のトップが行き、それで7チームになります。そのほかの25チームは予選参加チームの中から選ばれる形になります。

「別添資料」4-1、4-2、4-3に本選出場チーム32チームが載っております。例えば4-1で、大河原小学校から2チーム出ております。これは大河原教育事務所管内でトップ1チームのほかに、予選上位25チームに入っているのが、その大河原小学校の2チームと解釈していただければと思います。

めくっていくと、東部教育事務所石巻地区からは女川小学校しか出ておりません。石巻地区では17校から42チーム出たのですが、東部教育事務所管内では女川小学校がトップで、本選に出場になります。ただ、ほかの東部地区の小学校のチームは上位25チームに入れず、東部教育事務所管内からは女川小のチーム1校だけが出場になります。

事務所によっては多数参加している小学校もあり、本選は9月10日に県庁で行われます。大変厳しい状況ですが、何とか頑張ってもらいたいと思っております。

6年生の木村奏子さん、鈴木純怜さん、後藤啓太さん、この3人が頑張りました。

何よりも千葉校長先生自ら特訓をしていただきまして、東部教育事務所管内トップ通過しました。今も多分訓練をしていると思います。大変厳しいところもあって子どもたちも大変ですが、子どもたちにとってはものすごい自信になるのかなと思っております。県大会もレベルが高くて大変ですが、何とかこの3人には頑張ってもらいたいと願っております。こういうことを一つのきっかけにして、いろいろなところで子どもたちの力を伸ばしていきたいと思っております。

なお、小学校は、2ページの下にございますが、5年生の花山合宿が9月5日から7日まで、フリー授業参観が9月15日、秋

刀魚収穫祭、授業日としておりますが、9月24日に参加予定となっております。

3ページ、中学校でございます。

すでにご報告しているかもしれませんが、県大会で、女子1年100mで松川さんが見事第5位に入賞いたしました。4位までが東北大会ということで本当に残念だったのですが、今後の活躍が楽しみでございます。

それから吹奏楽コンクール、今年も見事な演奏を披露しました。残念ながら県大会出場はなりませんでしたが、あの人数で本当に頑張ったと思っております。銀賞を獲得いたしました。

中学校では、夏休みに入ってからすぐ駅伝練習に取り組んでおります。今朝も生徒は頑張っているところでございます。

それから、3年生の三者面談、おにぎり大使の派遣事業で2名の生徒が行ってまいりました。そこにもありますように、いろいろなことが夏休み中も行われました。

8月19日に徳島県牟岐町から生徒と先生方、教育委員会の職員が来校しました。この時は阿部委員さんにいろいろお世話になりました。ありがとうございました。

中学校は、運動会等の関係もあり、明日、第2学期の始業式でございます。中学校はすぐ、9月2日に運動会、6日が中総体の駅伝競走大会、さらには9月30日、10月1日に新人大会、それから中学校も今年は授業日にしまして、秋刀魚収穫祭に参加予定でございます。

4ページをお開き願います。

宮城県町村教育委員会協議会の教育長部会があるのですが、その第1回役員会が大崎市図書館で行われたところでございます。議会関係は、教育総務課長の資料に載っておりますので、あとで教育総務課長から詳細な説明がありますので、省かせていただきます。

校長・教頭会議が明日行われます。

第2回女川の教育を考える会が7月28日に行われました。基本設計、実施設計の昭和設計に来ていただきまして、新しい小・中学校の建設について説明をしていただき、先生方がグループになっていろいろな意見を出していただいたところでございます。それから教職員部会では、小中一貫教育に向けての行事、あるいは先程ありました算数、数学のことなどを話し合ったところでございます。

7月31日に女川町教育講演会を行わせていただきました。文部

科学省視学委員の田村学先生をお招きしてのご講演で、大変具体的で分かりやすい講演会でした。早速小学校は、2学期以降、田村先生からいただいた「書く」ということ、日記指導を行っていききたいという報告もいただいているところでございます。

田村先生は大変忙しい日程で、翌日は確か四国の方に行かれるということでございましたが、春日川教育政策監の働きかけによって女川町にお呼びすることができました。県内にも呼びかけたところでございます。大変有意義な講演会でした。5ページに入らせていただきます。

8月9日には、第13回を数えますが、小・中、向学館との連絡協議会を行わせていただきました。毎回非常に充実した話し合いを行わせていただいております。早速、全国学力・学習状況調査結果については、昨日、渡邊教頭先生に資料を配付いたしまして、今後の取り組みについて、あとで永野指導主事も含めて小学校、中学校と対応等について話し合う予定でございます。9番の生涯学習関係については、あとで佐藤課長から報告がありますので、省かせていただきます。

10番その他については、この休み期間中もいろいろな研修会等があったところでございます。

復興庁からも来町がございまして、昨日も前事務次官が来町されました。今日の午後、新しい事務次官が来町されます。

6ページに入らせていただきます。

今年で3回目を数えますHLABサマースクール、宮城・女川と今年に入ってありますが、8月14日から20日まで行われました。これも春日川教育政策監には裏方も含めてご尽力をいただいたところでございます。残念ながら県内も含めて町内の高校生の参加は少なかったのですが、今年度は中学生との関わり、あるいは数名でございますが女川町内の高校生も参加し、サマースクールそのものは大変有意義な会議でございました。参加した高校生にはしっかり女川町という名前がインプットされたのではないかと思います。

私もいろいろ関わらせていただきました。その中で、麻布高校の高校生2人、日比谷高校の高校生が教育に非常に感心のある高校生で、それから県内では、ウルスラと東北学院榴ヶ岡高校生徒との話し合いを行うことができ、大変有意義な時間を持たせていただきました。麻布高校の高校生は、感覚的に志が高いというか、世界を見ているというか、私もそれを肌で感じるこ

とができ、ある面貴重な体験をさせていただきました。

カタール大使館が麻布高校のすぐ隣だったので、春日川教育政策監と2回しか行ってないのですが、カタール大使館に行っただと言ったら、大変喜んで、今度カタール大使館に来たら高校にぜひ寄ってください、皆さんに紹介しますと言われて、そこまではという話をしたところでございます。

いろいろな高校生と触れ合う機会も与えていただき、感謝申し上げます。

それから、30日に第2回目のワークショップを開催する予定でございます。

「別添資料」に8月1日付けの区長会の名簿等を載せております。何かの参考にさせていただければと思っております。

それから「別添資料」の5ページに、秋の交通安全運動出動式の資料を載せております。今までは秋の交通安全運動の時に出動式等を行わなかったのですが、担当課から、今年は出動式を行いたいと。そこで子どもたちから交通安全宣言をしてもらえないかというお話があったので、この資料を載せております。明日の校長・教頭会議でも再度説明したいと思っております。

おわりにということで、高校野球等のことを書かせていただきました。

「鷺神地区にも1軒、2軒」と書きましたが、今は1軒2軒どころではなくて、今日はコンビニエンスストアの看板が立ったりして、大変うれしく思ったところでございます。変わってきていると感じたところでございます。

それから今朝ほど渡した資料は、申し訳なかったのですが、教員採用試験の第二次選考結果が分かりました。小学校は5名受け、4名が一次を突破したところでございます。男子が全員合格したということで、大変喜んでおります。中学校は、残念ながらゼロでございます。厳しい状況でございます。

二次選考が9月中旬に行われます。早速、模擬授業や面接、小学校ですからピアノの練習等を昨日から取り組んでいるところでございます。何とか二次も突破して、また女川の教育に携わっていただければ願っているところでございます。

仙台市と分かれての採用ということで、状況把握が難しい中ではございましたが、大体例年どおりの結果かなと思っております。中学校の教科によっては大変厳しい状況の教

教育総務課長

科もありましたが、小学校、何とかこの4名が二次を突破できるようにこれからも頑張らせたいと思っているところでございます。

もう一つは、すでに教育委員の皆様もご存じかと思いますが、NHKで「女川中バスケット部5人の夏」というアニメが放映されることになりました。そのチラシでございます。PR等をしていただければと願っているところでございます。

長くなってしまいました。私からは、以上でございます。

続きまして、教育総務課長から報告します。

それでは、私から「教育総務課の報告・連絡事項」の説明をさせていただきます。

資料を1枚めくっていただきまして、A版の資料で説明いたします。

まず、1番目、日程関係でございます。

(1)教職員研修から(4)第13回女川町小中向連絡協議会まで、このような形で実施しております。

先程教育長からもお話がありまして、牟岐町の視察研修がございました。8月19日から21日までの3日間、宮城県で研修を石巻、仙台等で行ったようでございます。本町につきましては、8月20日、阿部委員が講師となり、復興関係の説明をしていただきました。大変ありがとうございました。

次に、実施予定でございます。

重複する部分もございまして、第2回ワークショップを8月30日に予定してございます。ワークショップは全部で3回を予定してございます。今回は第2回で、説明をしたあとに、基本設計を粗々でまとめたもので第3回目、大体11月頃の予定をしてございます。

二つ目といたしまして、女川中学校の運動会でございます。9月2日(土)午前8時45分から。委員の皆様方、出席方よろしく願いいたします。

3番目といたしまして、議会9月定例会でございます。会期が9月4日(月)から、今回は決算議会のため、おおむね2週間程度予定されてございます。昨年は10日間。ですから土日が入りまして、実質8日という日程でございます。案件につきましては、一般質問、一般議案、補正予算、平成28年度各種会計決算審査になります。

次に、大きな2番目といたしまして、事故報告でございます。

まず、中学校生徒に関するにけがにつきまして、7月25日、中

学校の3年1組男子が学校プールで遊泳中に、誤って左足をプールの壁面にぶつけ、左足人差し指を骨折したものでございます。

二つ目が、8月20日、1年2組の男子がサッカー部として高円宮杯U-15 宮城県サッカー大会に出場しておりまして、対戦相手の選手から後ろからのファールを受け、前方に転倒した際に左手の甲を地面に強打し、左手首を骨折。こちらは全治4週間ということで大きなけがでしたが、この2件の報告がございました。

次に、3番目、その他といたしまして、はじめに学校支援につきまして、女川歯科保健チーム代表木村裕様から35万円の支援をいただいております。青少年の健康教育をはじめ地域発展のために応援するという名目で寄付をいただいております。

次に、一般社団法人宮城県法人会連合会、公益社団法人石巻法人会様から、協力会社、大同生命(株)、AIU損害保険(株)の協力により、未来を担うこどもたちへの支援といたしまして、小・中学校へ図書カード20万円相当の寄付がされてございます。こちらは石巻管内の石巻市、東松島市にも学校規模に応じた額の寄付がされたようでございます。

次に、一般事項といたしまして、教育長からもお話がありましたとおり、9月21日、秋の交通安全運動出動式への児童の参加ということで、被災後初めてですが、このような形で子どもたちに安全宣言をお願いしたいということでございました。

担当課では平成30年度以降、春、秋の出動式で、被災前のような形で、ブラスバンドや小学校の鼓笛隊などのパレード等も追い追いには検討してまいりたいというようなお話がされてございます。

私からは、以上でございます。

続きまして、生涯学習課長、お願いいたします。

教育長
生涯学習課長

それでは、次のページの「8月予定事業 9月実施予定事業」の一覧表に従いまして説明をさせていただきます。

8月の実施結果でございますが、まず8月1日から3日まで、ジュニア・リーダーの交流研修会ということで、毎年定期的に行っております栃木県塩谷町に今年も行っておりまして、13~14人が参加し、3日間の研修を行ってまいりました。天候にも恵まれ、子どもたちは有意義な研修をしてきたところでございます。

塩谷町との交流につきましては、震災後再開いたしまして、こちらで受け入れ態勢がないということもございまして、ずっと

塩谷にお世話になりっぱなしというところもございます。来年度は生涯学習センターも役場の施設庁舎と一緒に完成することもあり、そろそろ来年度、もしくは再来年度に女川町で受け入れてはいかがなものかというような考えも一つにありまして、その辺を具体化させていければと考えております。

それから1日から5日までの間に、日独スポーツ少年団交流ということで、これは石巻地区のスポ少が主催でやった事業でございますが、8月4日に女川町に来まして、あがいん女川などで交流をしたところでございます。

それから、主だったところでは、8日に災害査定ということで、震災で全壊いたしました生涯教育センターについて文部科学省の災害査定を受けたところでございます。

それから17日、18日、ジュニア・リーダーの中級研修会ということで志津川に行きまして、中級の研修を受けることを希望した3名のジュニア・リーダーが研修をしてまいりました。

それから、本日、教育長の予定表にもございましたが、小学校5年生を対象といたしましたインリーダー研修会、小学校で9時から開始しております。

それから1回目のパソコン教室も今日から始まります。

26日（土）ですが、親子アドベンチャークラブということで、今年度最後、3回目になりますが、猪落でカヌー体験をする予定でございます。

9月に入りまして、9月2日、3日でございますが、これも恒例行事となり、今年で17回目になります河北新報・石巻かほく杯宮城県少年少女柔道大会、2日が準備で、3日に大会の開催という予定となっております。

同じ日には、第二多目的運動場で電力杯のソフトボール大会も開催されます。

9月10日でございますが、宮城ヘルシー石巻地区大会。女川町を会場に行われます。一部競技の会場の関係で支援学校女川高等学園の校庭もお借りする予定となっております。

それから11日（月）ですが、防災キャンプ推進事業が小学校で行われます。

12日には、少年の主張石巻地区大会ということで、中学校に出場者を依頼しているところでございます。

30日は、中総体新人大会の柔道競技が女川町で開催されますが、その準備の日となっております。大会は10月1日の予定となっております。

以上、簡単ではございますが、報告させていただきました。

教育長
阿部委員 それでは報告事項についてご質問等ございませんか。
学力調査、去年と比べてだいぶ伸びているということで、結果が出ていて、いいのではないかなど。全国平均と比較してもしようがないと思っていますので。前と比較してどうかという部分の方が私は大事だと思っています。

教育長 特に小学校は、先程も話しましたが、5年生は県のテストでも10ポイントぐらい下回っていた科目もあったのですが、よくここまでというか、教頭、教務主任に、5年生だけではないのですが、入ってやっていただきました。

前校長先生のことを出すのは恐縮でございますが、校長先生が宿題まで出して、春休みなどもやっていただいた成果が、少しずつですが出てきているのかなど。そして学力アップについては、才能のある千葉校長先生が来たということもあって、うまく歯車が合ってきたのかなど。

問題は、これからだと思っております。阿部委員のように見ていただくと大変心強く思うのですが、一方で、教育長は学力の向上が喫緊の課題と言うけど、5年も6年も経過すると喫緊とは言わないとよくお叱りをいただきましたが、学力向上についてはなかなか一朝一夕にはいかないのですが、来年度から連携型の小中一貫校が始まりますので、今のような取り組みを、例えば算数、数学、一つでもいいからしっかりとやって、全国平均から±5ポイントの間になればいいと思っております。そこに少しずつ近づいてきているのかなどと思っております。

ただ、小学校の算数の-8ポイントというのは、がっかりしたところもあるのですが、一番校長先生、教頭先生ががっかりしておられて、ここをもう一回分析しなければならないと思っておりました。

あと朝の読書やじっくり考えさせるというのが、たまたまだとは思いますが、国語Bに表れてきているのかなというところは、指導主事とも話しております。

いずれにいたしましても、これから中学校も含めて一丸となって取り組ませていただきたいと思っております。

平塚委員 国語がこれだけ上がっているのだから、算数はポイント練習をすれば確実にアップすると思いますよ。やり方次第で大丈夫だと思います。

阿部委員 時間的にも多分国語が最初だと思うんです。文書が読めないことには問題が解けないので。

- 教育長 国語は小学校も中学校も下回ってはいるものの、大幅に下回っているわけではないのです。
- 平塚委員 国語がこれだけ良ければ、進歩は。
- 教育長 あと小学校は、確かに加配等をいただいて教員は多いのですが、どうしても初任層、講師等が多いのですが、講師も2年目、3年目になってきているので、先生方の力がついてきたというのも、こういう結果の表れかなと思っております。それが教採にも皆つながってきているのかなと。いずれにしても校長先生を中心にして一丸となって取り組んできている成果が、ちょっとですが出てきているなど。これを小中一貫を機に何とか出していきたいとは思っておりますが、なかなか一朝一夕にはいかないというところはございます。
- 横井委員 生徒は変わっていますが、先生、講師は変わっていない。
- 教育長 大きくは変わっていません。
あと女川の教育を考える会等で、算数、数学だったら、初めにこういうふうにしましょう、あるいは課題は必ず出しましょうとか、そういうことを今共通してやっております。
逆に私は欲張りなものだから、中学校の2年生の時に結構良かったので、英語は今でもいいのですが、もう少し頑張れるかなと思っていました。山野校長もがっかりしていたのです。もう一回だなと言っていたのですが。数学がちょっと。
- 平塚委員 算数チャレンジ大会の代表者は、希望者なんですか。それとも学校から。
- 教育長 まず希望させて、そのあと抽出したようです。そうでないと対抗できないということで。そして自信を持たせようということでやらせたようでございます。だから本当は2チーム、3チーム出したかったのですが、昨年度のことも踏まえて、千葉校長は、来年度以降はもう少し出したいと言っておりました。それが一番いいということで。
- 横井委員 そういうムードを醸し出すということは大事ですよ。じゃあ僕も出たい、私も頑張るということで。
- 教育長 おっしゃるとおりで。何よりも6年生の担任2人が本当に喜んでおまして、5年生もそれに続けということでやっているようでございます。大変失礼ですが、どうしても理解の遅い子どもたちに手をかける時間が多かったのですが、いわゆる上位群と言ったら語弊があるかもしれませんが、理解の早い子どもには、あと1問解けばいいんだよということで、全国学習・学力調査であれ何であれ、もう1問解ける力をつけるようにという

ことで話しております。そうすると全然違ってくるかなと思っております。

平塚委員 いろいろな問題に取り組みせたら大丈夫だと思うのですが。
阿部委員 全国平均の場合は、突出したところがあるの平均値だと思いますので。現状の体制で、加配も含めて結構充実した形で、力を入れれば結果が出せるというのが見えてきている数字だと思うんですね。ただ、その体制を継続しないと、これも継続できないというのも、一つの課題でもあるのだらうなという見方がしますので、その辺は長期で見るとどうなのかなということも心配ですね。

教育長 いずれこの加配は、今、4というのはあり得ないので、やがて2、ゼロになる可能性はあるので、その時に問われるのは教員の力だと思っております。そちらをしっかりとやっていかないとまずいかなとは思っております。

ただ、そういうシステムはできなし、何よりも向学館の協力は大きいですね。今、授業に入ってもらっていますので。さらに小学校では、能力別と言ったら語弊があるのですが、グループを細かく分けたようで、ここは個別グループとか、ここは1ポイントアドバイスグループという形で、5段階ぐらいに分けると青木教頭から報告をいただいておりますので、そういうのを積み重ねていくしかないと思っております。

あと私が何回か言っているのですが、平塚委員から出たように、算数や数学は、このぐらいプリントを置いておいて、バンバンさせるしかないのだと。そうすると、この問題はどこかで見たような感じだと、そう思っただけで解けるからというようなことは話しております。

それから、やっとな文章題も読むようになってきたと言っております。ただ、先程阿部委員から出たように、その体制を維持し、一貫校に入った時には小・中併せてやっていくしかないと思っております。

私は最後は教員の力だと思っておりますので、今回、教育講演会で田村先生に来ていただいたのですが、大変貴重な講演でございました。早速小学校あたりは取り組むということをお話しておりますので、一方でそういうことを組み合わせながら、教員の力のアップと今のシステムを維持しながら、あとはやっていくしかないと思っております。

ほかに何かございませんでしょうか。

生涯学習課長 先程9月の実施予定まで報告させていただきましたが、10月開

催予定のイベントの件ですが、従来と形式が違いますので、この場をお借りいたしまして、早めに説明を一度させていただきたいと思えます。

毎年10月の第3日曜日に開催しております町民ミニ運動会でございますが、今年は10月15日に開催されます。

従来ですと、町内の各行政区を六つのチームに編成して、得点種目があつて、競技性を持たせた中での開催としておりました。今年ですが、毎年被災県の何市町かで開催しているオリンピックデー・フェスタというイベントがございまして、これは主催が日本オリンピック委員会主催の事業でございますが、それに春先エントリーいたしましたところ、今回、見事採用され、東松島も何回か開催しているのですが、女川も今年開催ということで本決まりになりました。

事業の内容としては、ふれ合い型ということで、運動会形式を取り入れて、町民運動会と抱き合わせでやりたいという計画で進めていますが、オリンピックマークの5色の色なので、今年は5チーム編成になります。行政区を5チームに分けたうえで、小学校にも協力依頼をしていますが、授業日にさせていただいて参加をしてもらいます。要は行政区と小学校の子どもたちが一緒になって一つのチームを編成しながら、そのチームが5チームで、交流事業をオリンピックと一緒に、要はオリンピックに出場した選手たちと一緒に交流しましょうというイベントになっています。

5チームなので5人のオリンピックが来る予定ですが、一人だけ確定しております、アテネオリンピックのソフトボール競技の銀メダリスト、馬渕さんという女子ソフトの方がいらっしゃいまして、ほかの4人はこれから決まるということでございます。

差し当たってチーム編成が今までと違うやり方になるので、区長会の会長に相談したところ、今週末に区長会の役員会があるので、来て説明してほしいということでございますので、区長会の役員会で説明したうえで、今後、各行政区に協力依頼をしていきたいと考えております。

今のところまだ案の段階でございますが、従来と違うミニ運動会になるということでご認識いただければと思ひまして、報告をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

教育長

ただ今の件も含めまして、ほかにございませんでしょうか。なければ、その他に入らせてもらってよろしいでしょうか。

12 その他

(「はい」の声あり)

教育長 その他でございますが、来月の日程を決めさせていただきたい
と思います。

[9月20日(水)午前10時からということで調整]

教育長 20日水曜日ということで組ませていただきます。
ほかにございませんでしょうか。

(発言なし)

教育長 なければ、第9回女川町教育委員会会議を終了させていただきます。

13 閉 会 午前10時17分

14 この会議録の作成者は、次のとおりであります。

教育総務課課長補佐 笥 由佳子

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成29年9月20日

会議録署名委員

2番委員

4番委員